

授業科目名 <英訳>	医療技術の経済評価 Economic Evaluation of Medical Technologies		担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科	教授	今中 雄一
					医学研究科	特定講師	佐々木 典子
					医学研究科	特定講師	國澤 進
					医学研究科	特定講師	大坪 徹也

配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 前期前半	曜時限	水4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
----------	-----	-----	---	--------------	---------------	-----	----	----------	----	----------	---------

[授業の概要・目的]

- ・医療技術における経済評価を支える理論・フレームワークについての講義を行い、医療技術・医薬品等の経済性評価のための主な研究手法を学習します。
- ・医療技術の経済評価は、通常、現実的な制約の中で評価をすることになりますが、その際の研究のあり方についても学習します。
- ・医療技術・医薬品等、臨床的な事例・テーマを中心に検討を行います。

[到達目標]

- ・医療技術における経済評価を支える理論・フレームワークや研究方法等について、重要事項を説明できる。
- ・医療技術の経済評価研究に関するバイアスについて理解している。
- ・治療技術・薬剤・医療材料などに関する経済分析に用いられる主な研究手法として、費用分析・費用効果分析・費用効用分析・費用便益分析の違いやそれぞれの適応、費用算定・アウトカム測定・時間の概念・割引率・感度分析、増分費用効果比といった中心的な概念を理解して説明でき、分析結果の適切な解釈ができる。
- ・上記を踏まえてこの領域の研究文献を批判的にレビューし、その意義を説明できる。研究プロトコルの作成や研究実施時に、習得した知識・技術を活用できる。

[授業計画と内容]

- 第1回 4月12日 医療技術の経済性評価（1）
- 第2回 4月19日 医療技術の経済性評価（2）
- 第3回 4月26日 医療経済評価研究の評価法
- 第4回 5月10日 費用効果/効用分析の方法論 1
- 第5回 5月17日 経済評価のモデリング
- 第6回 5月24日 費用効果/効用分析の方法論 2
- 第7回 5月31日 医療技術の経済評価：論文レビュー&討議 1
- 第8回 6月7日 医療技術の経済評価：論文レビュー&討議 2

* 医学部生チュートリアル、外部講師他の諸状況により日程変更あります。初回に予定を説明します。

医療技術の経済評価(2)

【履修要件】

MCR限定必修

【成績評価の方法・観点及び達成度】

講義・討論・グループワーク・発表におけるコミットメント（配分30％）、課題レポート・期末などのレポート（配分70％）により、総合的に評価する。

【教科書】

適宜、資料を講義にて配布する

【参考書等】

（参考書）

- ・ Drummond MF, et al. Methods for the Economic Evaluation of Health Care Programmes, 3rd Ed. Oxford, 2005.
- ・ Myriam Hunink. Decision Making in Health and Medicine: Integrating Evidence and Values. Cambridge, 2001.
- ・ 医療制度・医療政策・医療経済（丸善出版,2013）
- ・ Handbook of Health Services Research（Springer Science+Business Media）

【授業外学習（予習・復習）等】

予習・復習は必要

（その他（オフィスアワー等））

- ・ 経済学の学習経験は問いません。
- ・ 当分野では医療の経済性、質・安全・原価の実証研究政策研究、医療の政策や経営に深く関わりたい人を募っています。（医療経済学分野：<http://med-econ.umin.ac.jp>）

注)医療のプロセス、アウトカム等の質指標、診療のばらつき、医療の質の評価・改善、医療機能評価、医療の質・安全に係わる制度・政策については、水曜3限「医療の質評価」(前期後半)(1単位)(MCR推奨選択・コア選択必修)を選択してください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。